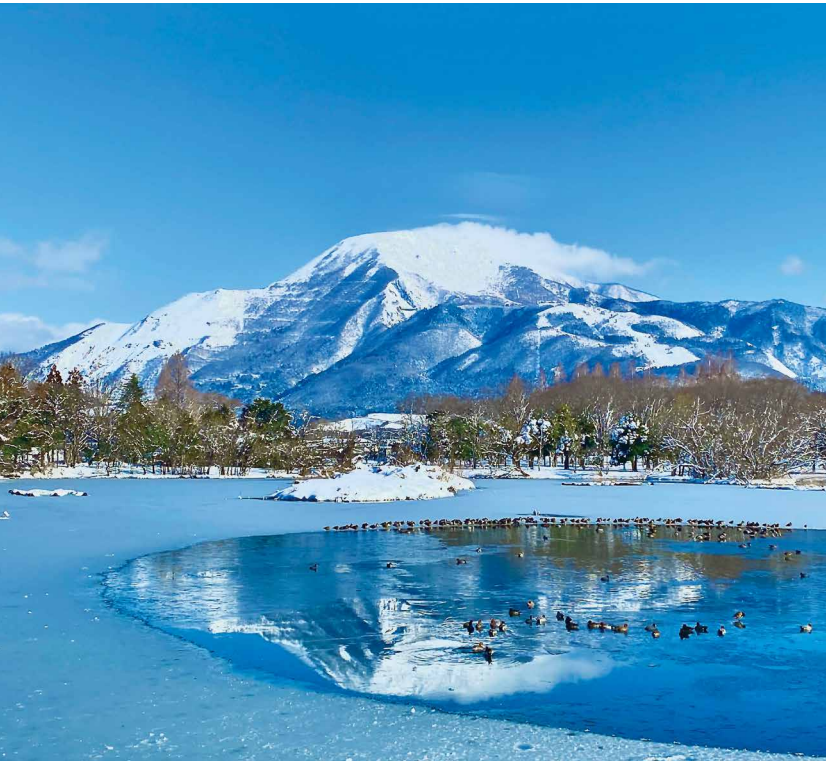




東草野の山村景観

琵琶湖を育む姉川の源流にある山村集落です。西日本屈指の豪雪地で、集落内では大雪に適応した工夫や豊富な湧水を引き込んだ水路などが見られます。
(国選定重要文化的景観)
所 米原市甲津原、曲谷、甲賀、吉槻
問 米原駅観光案内所((一社)びわ湖の素DMO)
☎ 0749-51-9082



伊吹山 西麓地域

伊吹山には水の神が宿るとされ、古代から崇拝されてきました。ヤマトタケルを撃退した伊吹山の神を大蛇である水の神として祀り、奈良時代以降にはこの神の力を得るために修験者が滝行を行いました。
(国指定史跡・国指定天然記念物)
所 米原市 池下ほか
問 米原駅観光案内所
((一社)びわ湖の素DMO)
☎ 0749-51-9082



醒井宿(地蔵川・十王水)

地蔵川は、居醒の清水などから湧き出る清水によってできた川で、珍しい水中花「梅花藻」が咲くことで有名です。十王水は地蔵川の中にあり、平安時代に水源が開かれた名水です。
古くは、伊吹山の神と戦ったヤマトタケルが傷を癒し、江戸時代には、多くの大名行列や旅人がこの地を通過しました。
所 米原市醒井
問 米原駅観光案内所((一社)びわ湖の素DMO)
☎ 0749-51-9082



朝日豊年太鼓踊および 伊吹山麓の太鼓踊と 奉納神社

水を司り、幾本もの大河の水源である伊吹山に対し、周辺の村々では現在でも5か所で雨乞い御礼の太鼓踊りが山に向かって奉納されています。
(国選択無形民俗文化財・県選択無形民俗文化財・市指定無形民俗文化財)
所 米原市 朝日ほか
問 米原駅観光案内所((一社)びわ湖の素DMO)
☎ 0749-51-9082



道の駅 伊吹の里 旬彩の森 伊吹山の麓にある道の駅

伊吹山の麓に位置する道の駅。生産者直売の旬の野菜や、山菜、果実、加工品、お弁当や惣菜、焼きたてのパンやスイーツを提供しています。さらに、米原市の特産品「伊吹在来そば」の販売も行っており、蕎麦打ちや草木染めなどの体験も行えます。地画展や季節限定の特産品なども人気です。ぜひお立ち寄りください。



所 米原市伊吹1732
問 伊吹の里 旬彩の森
☎ 0749-58-0390
開 9:15～17:00(7、8月は17:30まで)
休 1月～3月は木曜定休、4月～12月は無休

滋賀県醒井養鱒場 日本で最も歴史のあるマス類の増養殖施設

明治11年(1878年)に設立された日本でもっとも歴史のあるマス類の増養殖施設の一つです。養鱒場を取り巻く環境は、深山幽谷として自然景観に勝っており、霊仙山(1094m)山麓の鍾乳洞から湧き出る清水を使ってイワナやアマゴ、ニジマス、ビワマスが育てられ、「日本の渓流魚の里」となっています。また、観覧のお客様や、体験学習に参加された人々が自然とふれあう情操教育の場として活用されています。醒井峡谷のふところ、場内は、春は桜、初夏は新緑、秋は紅葉など四季それぞれに豊かな自然に恵まれています。



所 米原市上丹生
問 滋賀県醒井養鱒場 管理事務所・観光案内
☎ 0749-54-0301
開 8:30～17:00(平日9:00～)(夏季18:00まで、冬季16:00まで)
休 年末年始(12月28日～1月4日)

伊吹山パラグライダースクールBLUE SKY 空に飛び上がる瞬間は 無重力空間みたいで最高

伊吹山の麓で、気軽に大空へ飛び立てるパラグライダーはいかがでしょうか。手ぶらで体験できます。最寄り駅からは、無料送迎バスあり(要予約)。広大な練習場からは、びわ湖を一望することができます。丁寧な指導、道具も全て揃えています。ライセンスを取得するためのマスターコースなどもあります。



問 伊吹山パラグライダースクールBLUE SKY
☎ 090-7762-9933

米原観光ボランティアガイド協会 日本遺産 地元ボランティア ガイドがご案内します!

上記4つの日本遺産スポットを、地元で詳しいボランティアガイドがご案内いたします。(人数が多い場合はご相談ください。)米原の日本遺産をめぐりながら、四季折々の鮮やかな風景と一緒に散策しませんか。詳細は下記までお問合せください。
※費用は、3時間まで1,000円/1ガイドとなります。(2023年1月現在)



問 米原観光ボランティアガイド協会
☎ 0749-56-0440

北国街道の米原宿、北国脇往還の藤川宿、春照宿、中山道の番場宿、醒井宿、柏原宿が置かれた交通の要衝で、とりわけ醒井宿は、古くからの宿場町の風情を残しています。市の北東部にそびえる伊吹山は、滋賀県最高峰で、この山に降る雨や雪が伏流水となって、山麓は豊富な湧水に恵まれ、独特な水景観と生活文化を生み出してきました。



彦根城

彦根城は彦根山の北にある大名庭園で、延宝5年(1677)に造営が始められました。毎年9月には「観月の夕べ」、11月には「錦秋の彦根園ライトアップ」が開催されます。

所 彦根市金亀町3
問 彦根城運営管理センター
☎ 0749-22-2742

旧彦根藩松原下屋敷 (お浜御殿) 庭園

池泉回遊式庭園。池の水は、琵琶湖の水位と連動して波打ちぎわが変化する汐入方式。淡水を利用した汐入形式の国名勝庭園は日本で唯一です。州浜と築山で構成された景観は、水と調和した精神を示しています。年に2回特別公開を実施。



所 彦根市松原町515
問 彦根市文化財課
☎ 0749-26-5833



彦根城

天守が国宝に指定された天下の名城の一つに数えられる彦根城は、城下町も含めて約20年の歳月をかけて建設され、元和8年(1622)ころに完成しました。月明かりに浮かぶ彦根城は美しく、琵琶湖八景の一つに数えられています。かつては琵琶湖や内湖に接して築かれた「水城」であり、堀は城下町への物資の輸送路としても利用されていました。船町という地名や堀沿いに残る船着場跡、船頭等の屋敷跡などに、面影を見ることができます。なお、彦根城は、現在、世界遺産登録を目指しています。

所 彦根市金亀町1-1
問 彦根城運営管理センター
☎ 0749-22-2742



夜間特別公開 『錦秋の彦根園ライトアップ』

11月中旬～11月下旬
開催時間 午後6時～午後9時
(入場午後8時30分まで)
問 (公社)彦根観光協会
☎ 0749-23-0001
旧彦根藩主「井伊家」の大名庭園「彦根園」で、紅葉の季節に合わせ夜間特別公開のライトアップを開催します。晩秋のひと時、彦根ならではの輝きをぜひご覧ください。



彦根園内では、紅葉のライトアップを眺めながらお抹茶を召し上がれます。風情と趣を感じながらの至福の一夜はいかがでしょう。 ※天候その他の事情により、イベント内容の変更または中止となる場合がございます。

ゆらっと遊覧『屋形船』でお堀めぐり

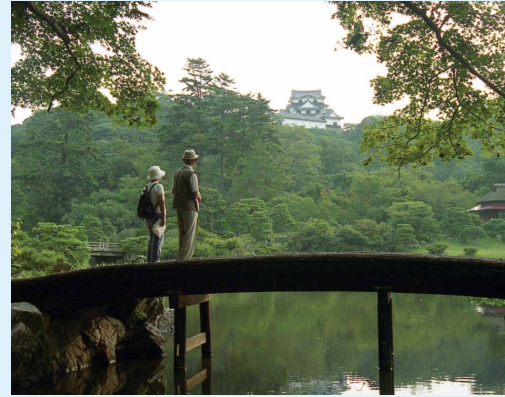
通年
運行時間
平日 午前10時～午後3時
土日祝 午前10時～午後4時
※桜時期は、昼夜特別運行もあり
※冬季は運行時間の変更あり
問 NPO法人小江戸彦根
☎ 080-1461-4123



江戸時代、彦根城には米蔵などもあり、お堀の水運を利用して船が行き交っていました。当時の絵図面や古写真を基に忠実に再現した屋形船で、石垣や米蔵水門、季節の桜や紅葉、柳など、船から眺める彦根城の美しさを、水面からの視点でゆっくりお楽しみいただけます。粋な屋形船遊びをしてみませんか。

地元ガイドがご案内。日本遺産『彦根城』と『彦根楽々園』

通年
申込期限 実施日の1週間前
問 彦根ボランティアガイド協会 **☎** 0749-22-6849
彦根城は、当初、関ヶ原の合戦の後に大坂城を牽制するために築かせた戦いのためのお城でしたが、大坂の陣の後は、地域の平和と安定のための政治の場として大きく改造されることになりました。このため、城内には戦いのための施設だけでなく、美しい彦根園の庭園や落ち着いた趣きの楽々園の御殿など文化的な施設もたくさん残っています。特に彦根園の池に映る国宝の天守は必見。見どころいっぱい彦根城を、地元ガイドとともに巡ってみませんか。
※ボランティアガイド交通費1,000円が必要となります。(2023年2月現在)
(正午をまたぐ場合は、午前・午後分として2,000円が必要となります。)



コース **所要時間** 2時間 **集合** いろは松駐車場 **START** いろは松駐車場 ▶ 佐和口多間櫓(重文) ▶ 馬屋(重文) ▶ 鐘の丸 ▶ 天秤櫓(重文) ▶ 時報鐘 ▶ 太鼓門櫓(重文) ▶ 天守(国宝) ▶ 西の丸三重櫓(重文) ▶ 彦根楽々園(名勝) ▶ いろは松駐車場 **GOAL**

琵琶湖に面した彦根山に立つ彦根城は、大老を輩出した井伊家の居城で、彦根市はその城下町として発展してきました。城の周りには、彦根園、お浜御殿などの大名庭園があり、水を巧みに取り入れた池泉回遊式庭園は、日本の庭園美を代表するものといえます。城下町、宿場町の風景も良好に保存されています。



伊庭の水辺景観

伊庭町は、湖東平野に残る水郷集落の一つで、かつては湖東の湖上交通の有力な拠点として栄えました。重要文化的景観に選定された集落内には、伊庭川の本流が貫流しており、そこから水路が縦横に張り巡らされ、かつては田舟が行き来をしていました。また、水路には「カワト」（川に下りる階段）が各家に設けられており、水に寄り添う生活を間近に感じることができます。

所 東近江市伊庭町
問 湖辺の郷伊庭景観保存会(伊庭自治会館内) ☎ 0748-42-0362
東近江市歴史文化振興課 ☎ 0748-24-5677



五個荘金堂の町並み (近江商人屋敷)

五個荘金堂地区は近江商人ゆかりの地で、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。愛知川の伏流水を水源とする湧水から集落内を巡る水路に水が流れ、暮らしの中で利用されてきました。江戸時代後期から昭和前期にかけての近江商人の本宅群と伝統的な農家の住宅が優れた歴史的景観を形成しており、白壁と舟板で仕上げた土蔵が続く町並みは情緒を感じさせます。

所 東近江市五個荘金堂町
問 (一社)東近江市観光協会 ☎ 0748-29-3920
東近江市歴史文化振興課 ☎ 0748-24-5677

伊庭	
伊庭の坂下し	5月4日

五個荘	
商家に伝わるひな人形めぐり	2月上旬～3月中旬
商家に伝わる武者人形めぐり	4月下旬～5月上旬
ぶらっと五個荘まちあるき	9月最終日曜日



永源寺と奥永源寺の山村景観

永源寺は、臨済宗永源寺派の大本山で、関西有数の紅葉の名所です。ここには、渓谷から流れる清流の音を聞きながら禅の修行に励む僧の姿があります。また、奥永源寺は、琵琶湖の水源である愛知川水系にある山村景観で、深い谷から水を引き込み共同水道を今なお生活に利用しています。豊かな水源は人々に森の恵みを与え政所茶や木地生産などの伝統が育まれてきました。

所 東近江市永源寺高野町41(永源寺) **問** 永源寺 ☎ 0748-27-0016
問 奥永源寺の山村景観／(一社)東近江市観光協会 ☎ 0748-29-3920
東近江市歴史文化振興課 ☎ 0748-24-5677

永源寺	
永源寺ライトアップ	11月上旬～下旬



愛知川に沿って鈴鹿山脈から琵琶湖まで広がる東近江市。奥永源寺の美しい渓谷から流れ出た清水は、五個荘界隈にある近江商人の本宅と農家住宅が一体となった歴史的なまちなみの美しい水路を通ります。そして伊庭の水郷へとつながり、人々の生活に寄り添った後、母なる琵琶湖へと流れていきます。

水辺景観と歴史・奇祭伊庭の坂下しの町 どこか懐かしい「伊庭の水辺集落」を巡る

定員 なし
問 湖辺の郷伊庭景観保存会
☎ 0748-42-0362
(伊庭町自治会館内) (事前予約要)
休 日曜日、祝日
※景観保全協力金等として、1人500円が必要となります。



集落の中を縦横に張り巡らされた水路はかつて農作業や漁業に出掛ける田舟が頻りに往来をしていました。水路は現在、道路に変わり、川幅は半分ほどになりましたが水郷の趣を残しています。石積みでつくられた水路や各所に設けられたカワトなど、水郷の趣が残る町並みを地元ガイドと一緒に散策してみませんか。

コース	所要時間	約2時間	集合	大湊神社
START	大湊神社・仁王堂 ▶ 妙金剛寺 ▶ 正蔵寺と田舟 ▶ 鯉ゾーン ▶ 妙楽寺と門内4カ寺 ▶ 岡八醬油蔵 ▶ 金刀比羅神社と伊庭湊跡 ▶ 謹節館(伊庭城址)	GOAL		

白壁と舟板塀の町並み 近江商人のふるさと五個荘を巡る

定員 なし
(お客様10名につきガイド1名)
問 ぶらざ三方よし
☎ 0748-48-6678
(1週間前に事前予約要)
休 月曜日、祝翌日
※ボランティアガイド交通費1,000円が必要となります。



重要伝統的建造物群保存地区に選ばれた金堂の歴史的な町並みを歩きながら、近江商人のお屋敷を見学します。近江商人屋敷では商家の特徴や近江商人の家訓などについてガイドがご案内します。白壁や舟板張りの土蔵をたどり、タイムスリップしたかのような町の風景をお楽しみください。

コース	所要時間	約1時間30分	集合	ぶらざ三方よし
START	ぶらざ三方よし ▶ 弘誓寺 ▶ 外村繁邸 ▶ 中江準五郎邸 ▶ 川中地藏 ▶ 金堂まちなみ保存交流館 ▶ ぶらざ三方よし	GOAL		

絶滅危惧種「ムラサキ」で染める 東近江市の万葉ロマン体験

定員 15名(最少催行人数5名)
所 東近江市君ヶ畑町844番地
問 株式会社みんなの奥永源寺
☎ 0748-56-1194(事前予約要)

「絶滅危惧種」で「東近江市の花」、「紫草」を活用した「紫根染体験ツアー」。冠位十二階位最高位の色「濃紫」を東近江市内で栽培された「天然国産紫草」で染める特別な体験ツアーです。ムラサキを使ったコスメの体験も可能です。





沖島

琵琶湖最大の島で、淡水湖にある島に集落がある世界的に珍しく学術的にも注目されている島です。住民は今も漁業を主な生業とし、多種多様な湖魚の漁労、加工、料理方法や生活風習など島の生活様式の全てが重要な文化遺産です。もとは「神の島」で、無人島でしたが、平安時代末期に人が定住し、湖上交通の重要拠点の一つであったと考えられています。

所 近江八幡市沖島町
問 近江八幡市観光政策課
☎ 0748-36-5573



近江八幡の水郷

琵琶湖の内湖・西の湖の水辺に農地、ヨシ地、里山、自然が集落と共にあり、現在でも農業や漁業、ヨシ産業などがそこに暮らす人々の中で培われています。自然との共生により景観が保たれ、失われつつある琵琶湖の原風景を残した貴重な地域です。国の重要文化的景観(第1号)に選定され、ラムサール条約による保護湿地にもなっています。

所 近江八幡市内
問 近江八幡駅北口観光案内所
☎ 0748-33-6061

長命寺

西国三十三所観音霊場の第三十一番札所で、山号は伊崎寺と同じ「姨綺耶山」。古代の忠臣・武内宿禰が関わる霊山に本堂や諸堂の屋根の線が美しく重なりあう伽藍があります。本尊は千手観音、十一面観音、聖観音の三体で、本尊と本堂、三重塔、護摩堂、鐘楼などと共に山内には多数の国・県・市指定文化財があります。

所 近江八幡市長命寺町157
問 長命寺 **☎** 0748-33-0031



伊崎寺

山号は長命寺と同じ「姨綺耶山」。役行者が開かれたこの地に千日回峰行の祖・相応和尚が自作の不動明王3体を比叡山無動寺明王堂、葛川明王院と共に安置したのが始まりとされ、現在も天台修験の聖地のひとつです。8月1日の千日会には琵琶湖の先端に張り出した棹の上から水に飛び込む荒行「棹飛び」など、水の信仰と深く結びついた寺として有名です。

所 近江八幡市白王町1391
問 伊崎寺 **☎** 0748-32-7828



ヴォーリス建築めぐり

問 近江八幡駅北口観光案内所
☎ 0748-33-6061



市立資料館

昭和28年に増改築されたかつての警察署です。昭和49年より資料館として利用され、平成30年4月に改修されました。

問 市立資料館 **☎** 0748-32-7048
開 9:00 ~ 16:30(入館は16:00まで)
休 月(祝除く)・祝翌日(土日祝除く)・年末年始



旧八幡郵便局

大正期のヴォーリス建築の一つ。現在、NPO法人ヴォーリス建築保存再生運動「一粒の会」により保存、修復が行われ公開されています。

問 旧八幡郵便局 **☎** 0748-33-6521
開 11:00 ~ 17:00 **休** 平日・祝日



ヴォーリス記念館

晩年のヴォーリス夫妻が住んだ場所で記念館となっています。

問 ヴォーリス記念館 **☎** 0748-32-2456
開 見学は事前に要電話予約
休 月曜・祝・不定休あり

「日本遺産 滋賀」認定 瓦粘土オリジナル作品作り体験

近江八幡の地場産業「八幡瓦」を紹介する、かわらミュージアムでは、自分だけのオリジナル瓦粘土作品を作れます。旅の記念にいかがですか！

＊いぶし瓦の色に焼きあがります。お届けまでやく1ヶ月かかります。

問 かわらミュージアム
所 近江八幡市多賀町738-2
☎ 0748-33-8567
開 9:00 ~ 17:00(入館は16:30まで)
休 月曜日(祝日の場合は翌日)・祝日の翌日・年末年始
価格：1,000円、1人粘土600g(所要時間は約60分)
備考：要予約、型押し等の簡単な体験もあり



日本遺産“沖島” 日本で唯一湖に人の住む島散策のご案内

今も昔も変わらず、ゆったりとした時間が流れ、昔ながらの暮らしが息づく沖島。近江八幡観光ボランティアガイドが、素朴でのどかな沖島をご案内します。

問 近江八幡駅北口観光案内所
☎ 0748-33-6061

備考：HPからでも受付可能 <https://www.omi8guide.com/>
2人以上のグループで5日前までに申し込みください。
費用：沖島ガイドはガイド1名につき金1,500円+渡船料



琵琶湖の東岸に位置する近江八幡市は、織田信長が築いた安土城と豊臣秀次が築いた八幡山城の二つの城下町をもとに発展してきた歴史があります。市の北東部には西の湖が水郷地帯を形成しており、水郷めぐりの屋形船が観光客に人気を博しています。また、琵琶湖の沖合には琵琶湖最大の島、沖島が浮かんでいます。

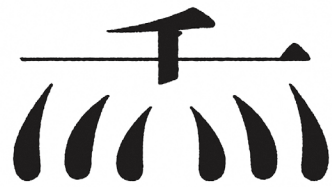
近江八幡

OMIHACHIMAN

きっと恋する六古窯

～日本生まれ日本育ちのやきものの産地～

日本六古窯は中世から今も連綿とやきものづくりが続き、大小様々の窯跡や工房へ続く細い坂道が迷路のように入り組んでいます。恋しい人を探すように煙突の煙を目印に陶片や窯道具を利用した堀沿いに進めば、わび・さびの世界へと自然と誘い込まれ、時空を超えてセピア調の日本の原風景に出会うことができます。



旅する、千年、六古窯
火と人、土と人、水と人が出会った風景

問 六古窯日本遺産活用協議会
☎ 0748-69-2187
甲賀市産業経済部商工労政課
<https://sixancientkilns.jp/>

信楽焼(無形文化財)

古信楽を範とした伝統的技法による作品のつくり手のみならず、信楽の伝統を活かした制作を行う芸術性の高い作家まで広くその対象としている。

問 信楽伝統産業会館
所 甲賀市信楽町長野1203番地
☎ 0748-82-2345
開 開館時間：午前9:00～午後5:00
休 休 館 日：毎週木曜日(木曜日が祝日の場合は翌日が休館)



岡本太郎作品

芸術家の岡本太郎氏は信楽で多くの登記作品を制作した。代表作《坐ることを拒否する椅子》は信楽伝統産業会館で常設展示されている。

問 信楽伝統産業会館
所 甲賀市信楽町長野1203番地
☎ 0748-82-2345
開 午前9:00～午後5:00
休 毎週木曜日(木曜日が祝日の場合は翌日が休館)

窯元散策路

窯元散策をしながら信楽焼の制作現場を見学できる体験の場を一般向けに提供し、多くの観光客に親しまれている。

問 信楽町観光協会
所 甲賀市信楽町長野1203番地 信楽伝統産業会館内
☎ 0748-82-2345
開 午前9:00～午後5:00
休 毎週木曜日(木曜日が祝日の場合は翌日が休館)



信楽たぬき

昭和天皇が行幸された際に、信楽たぬきを並べて奉迎した。これが報道を通じて注目されて信楽たぬきは全国的に知られるようになったといわれる。

問 甲賀市信楽伝統産業会館
所 甲賀市信楽町長野1203番地
☎ 0748-82-2345



古信楽

室町時代後期になると茶壺、蹲、鬼桶水指は「侘」「寂」といった自然観を備え、堺・奈良・京都などの町衆に茶碗として見出された。

問 甲賀市信楽伝統産業会館
所 甲賀市信楽町長野1203番地
☎ 0748-82-2345

忍びの里 伊賀・甲賀

～リアル忍者を求めて～

甲賀市と伊賀市が持つ“リアルな忍者”が感じられる魅力ある里の文化や伝統を語るストーリーです。今や世界中の多くの人々が忍者に魅せられていますが、その本当の姿はあまり知られていません。忍びの里伊賀・甲賀の各所で、当時のリアル忍者を感じていただけます。



問 忍びの里伊賀甲賀忍者協議会
☎ 0748-69-2190
<https://www.shinobinosato.com/>

観光インフォメーションセンター 甲賀流リアル忍者館

忍びの里の歴史文化の紹介や忍者の足跡を感じられる施設です。映像や体験型展示で甲賀流忍者を体感できます。

問 甲賀流リアル忍者館
所 甲賀市甲南町竜法師600
☎ 0748-70-2790
開 開館時間：午前10:00～午後4:00
休 休 館 日：月曜(祝日の場合は開館)、年末年始
料 駐車場・入場無料



甲賀忍術博物館

1400点あまりの資料が展示されています。甲賀忍術博物館のある甲賀の里忍術村では、からくり屋敷や手裏剣道場などで忍者体験ができます。

問 甲賀の里 忍術村
所 甲賀市甲賀町隠岐394
☎ 0748-88-5000
開 開館時間：午前10:00～午後4:00
休 休 館 日：月曜(祝日の場合翌日)
料 入村料：1,100円(大人)



油日神社

甲賀流忍者たちの集いの場であったとされ、本殿・回廊・楼門が国指定重要文化財建造物に指定されています。

問 油日神社
所 甲賀市甲賀町油日1042
☎ 0748-88-2106
料 駐車場・入場無料



飯道山

甲賀流忍者が修行場とした山です。標高664.2mの山頂を目指しハイキングを楽しんでください。

問 (一社)甲賀市観光まちづくり協会(甲賀市甲南町野田810)
所 甲賀市水口町水口地先
☎ 0748-60-2690



京都と大津を繋ぐ希望の水路 琵琶湖疏水

～舟に乗り、歩いて触れる明治のひととき～

琵琶湖から京都へと水を運ぶ琵琶湖疏水。
明治の時代に、京都の人々は多くの困難を乗り越え琵琶湖疏水の建設を成し遂げ、豊富な水は水力発電、舟運、水道などに利用され、経済や産業、文化を発展させました。時を超え今に息づく明治の偉業「琵琶湖疏水」は、今も京都と大津を繋ぎ、まちと暮らしを潤しています。

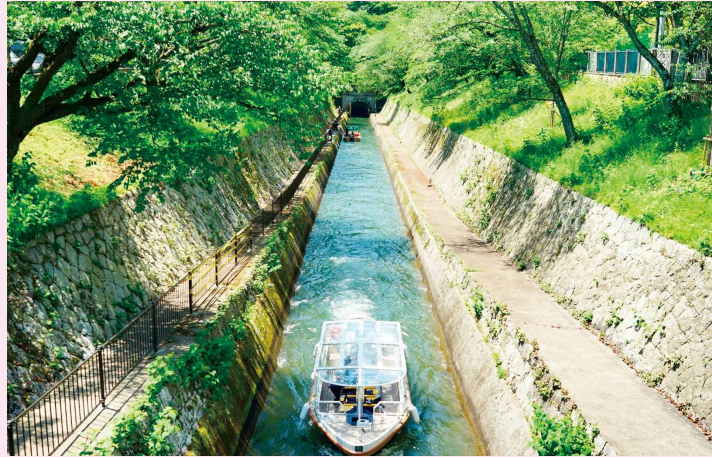


問 大津市観光振興課
☎ 077-528-2756
<https://biwakososui.city.kyoto.lg.jp/>

琵琶湖疏水

明治時代に建設された京都へ水運ぶ人工運河。その両岸には約200本の桜の木が連なり、大津市屈指の桜の名所として知られる。

問 大津駅観光案内所(大津市春日町1-3)
所 大津市三井寺町
☎ 077-522-3830(大津駅観光案内所)
休 無休
料 無料



びわ湖疏水船

琵琶湖と京都を結ぶ人工運河「琵琶湖疏水」を巡る観光遊覧船。例年、春と秋に運航しており、桜や紅葉に彩られた疏水の景色を堪能できる

問 びわ湖疏水船受付事務局(JTB京都支店内)
所 大津市大門通
☎ 075-365-7768
料 乗船日により異なる

例年、春と秋シーズンに運航
詳細は、HP(<https://biwakososui.kyoto.travel/>)をご確認ください。

大津港

琵琶湖の水運を利用した物資の集散地として栄えた大津港。現在は、びわ湖観光の玄関口としてにぎわっている。大津港から外輪船「ミシガン」に乗り、びわ湖の遊覧ができる。

問 大津駅観光案内所(大津市春日町1-3)
所 大津市浜大津5丁目
☎ 077-522-3830(大津駅観光案内所)
休 無休
料 無料

※ミシガンクルーズは有料。詳しくは琵琶湖汽船予約センターへ(0570-052-105)



1300年つづく 日本の終活の旅

～西国三十三所観音巡礼～

観世音菩薩をまつる33の札所寺院からなる西国三十三所。閻魔大王に選ばれた、1300年の歴史ある、日本最古の巡礼路です。ただ身辺整理をするだけの終活ではなく、2府5県に点在する札所寺院を巡礼し、観世音菩薩の慈悲の心に触れ、前向きに生きるきっかけとなる終活の旅。それが西国三十三所観音巡礼です。



SAIKOKU



観音巡礼

問 日本遺産「日本の終活の旅」推進協議会
☎ 075-744-6233
<https://jh-saikoku33.jp/>

西国第12番札所 岩間山 正法寺(岩間寺)

人々を救うために毎晩地獄を駆け巡り、汗びっしょりで戻られる「汗かき観音」が本尊。本堂横には松尾芭蕉ゆかりの池があります。



問 正法寺(岩間寺)
所 大津市石山内畑町82
☎ 077-534-2412
開 拝観時間：9：00～16：30
料 入山料500円

西国第13番札所 石光山 石山寺

巨大な^{けいかいせき}硅灰石の上に建ち、四季折々の花や紅葉が美しい。紫式部が「源氏物語」の着想を得たと伝わる王朝文学ゆかりの寺です。



問 石山寺
所 大津市石山寺1-1-1
☎ 077-537-0013
開 拝観時間：8：00～16：30(納経受付～16：00)
料 入山料600円

西国第14番札所 長等山 三井寺(園城寺)

「近江八景」に描かれた「三井の晩鐘」は天下の三名鐘のひとつ。春には1,000本もの桜が広い境内を彩ります。



問 三井寺(園城寺)
所 大津市園城寺町246
☎ 077-524-2416
開 拝観時間：8：00～17：00
料 入山料 大人600円 中高生300円 小学生200円

西国第30番札所 竹生島 宝厳寺

水と芸能を司る弁才天信仰の聖地、竹生島。豊臣秀吉ゆかりの豪華絢爛な「唐門」は国宝に指定されています。



問 宝厳寺
所 長浜市早崎町
☎ 0749-63-4410
開 拝観時間：9：30～16：30(観光船就航時間)
料 入島料大人600円 小人300円(竹生島奉賛会)

西国第31番札所 姉崎耶山 長命寺

聖徳太子開基。延命長寿のご利益で親しまれ、808段の石段を登った境内からは、雄大な琵琶湖が見渡せます。



問 長命寺
所 近江八幡市長命寺町157
☎ 0748-33-0031
開 拝観時間：8：00～17：00
料 入山料 無料

西国第32番札所 叡山 観音正寺

聖徳太子開基。人魚伝説が残る寺。本尊はインドより特別に輸入した貴重な白檀で彫像されています。



問 観音正寺
所 近江八幡市安土町石寺2
☎ 0748-46-2549
開 拝観時間：8：00～17：00
料 入山料 大人500円 中高生300円

滋賀県全域 MAP



海を越えた鉄道

～世界へつながる 鉄道のキセキ～

明治時代に長浜市・敦賀市・南越前町間に鉄道が敷設されたことにより、この地域に物流の革命がもたらされ、それは海外航路とのつながりを促しました。鉄道は国際列車として世界へと通じ、人、文化、経済の国際交流の架け橋となりました。それらの鉄道遺産は、姿や形を変えずに、人々の生活に必要な財産として生まれ変わり、地域に密着した文化財として生き続けています。



問 長浜市・敦賀市・南越前町
観光連携協議会
☎ 0749-65-6521
<https://japan-heritage.bunka.go.jp/ja/stories/story090/index.html>

旧長浜駅舎・扁額5基・D51型793号蒸気機関車

旧長浜駅舎29号分岐器ポイント部(長浜鉄道スクエア)

現存する日本最古の駅舎。敦賀への基点駅として、また長浜―大津間の鉄道連絡船の接続駅として、明治15年に建築されました。現在は鉄道資料館として公開されている。

問 長浜鉄道スクエア 所 滋賀県長浜市北船町1-41

☎ 0749-63-4091 休 年末年始

開 9:30～17:00 (入館は16:30まで) 料 大人300円/小中学生150円



慶雲館

明治20年、明治天皇の京都行幸啓の帰路、鉄道連絡船から鉄道へ乗り換える間の立ち寄り処として、長浜港と長浜駅の間に建設した迎賓館。現在は盆梅展等が開催され、観光客で賑わいを見せている。

問 慶雲館

所 長浜市港町2-5

☎ 0749-62-0740

休 12月上旬～1月上旬

開 9:30～17:00

料 大人300円/小中学生

150円(盆梅展開催期間中は別料金)



中ノ郷駅跡

旧北陸線中ノ郷駅の跡。柳ヶ瀬越えのため、補機を付け替えるため、すべての車両が停車し、賑わったが、北陸線の付け替えにより、廃駅となった。ホームの一部を残す駅跡で、駅標のレプリカが立っています。

問 長浜観光協会 北部事務所

所 長浜市余呉町中之郷

☎ 0749-82-5909



柳ヶ瀬トンネル

長浜―敦賀間の県境にまたがるトンネル。明治17年の完成当時、国内最長の1,352m。日本人技術者のみで建設され、難工事のため、完成までに4年の歳月を要した。このトンネルの完成は鉄道敷

設技術の大きな進歩となった。現在は福井県道・滋賀県道140号敦賀柳ヶ瀬線として、鉄道路線時代のトンネルをそのまま使用している。

所 滋賀県長浜市・福井県敦賀市



黒壁ガラス館

第三十銀行長浜支店の建物として、明治33年に建造された。壁が黒色だったため、黒壁銀行の愛称で親しまれ、鉄道のまちとして栄えた長浜の経済を支えた建造物である。

問 株式会社 黒壁

所 長浜市元浜町12-38 ☎ 0749-65-2330

休 年末 開 10:00～18:00

